

「私たちの身のまわりの環境地図作品展」30周年記念シンポジウム開催要項

1991年8月に旭川市で開催された「環境変化と地理情報システム国際会議」の付帯事業として始まった「私たちの身のまわりの環境地図作品展」が30周年を迎えました。

この環境地図作品展（地図展）は、小学校から高校生までを対象に、国内、国外を問わず応募できる全国規模の唯一の地図展であることが大きな特徴です。また、海外への情報発信も精力的に行われてきたため国際的な地図展としても知られています。

今回、30周年を記念して「こうして環境地図は生まれた」をテーマにシンポジウムを開催します。お話をしていただくのは、環境地図を作成して2年連続国土地理院長賞を受賞した中学生、小学校1年生から高専3年生まで環境地図を作成した学生、環境地図を作成する小学校低学年の子どもの保護者、釧路の石炭の歴史と地域との関わり調べ石炭マップの作成を指導する公立小学校教員。4人のそれぞれ異なった立場から環境地図作品がどういう思いでどう作られたのかをお話しいただくことによって地図展を今まで以上に楽しめるのではないかと思います。

今回はコロナ禍のためオンラインで開催します。旭川市に来ることができない全国の方に環境地図の素晴らしさを伝えることができればと思います。

日時：2021年10月31日（日）10:00～12:00

主催：環境地図教育研究会（会長 坂井誠亮）

内容：シンポジウム「こうして環境地図は生まれた」

僕の地図づくり 大懸崇一郎（旭川工業高等専門学校専攻科1年）

環境地図作品への思い 江島 未彩（早稲田実業学校中等部3年）

息子と楽しむ地図づくり 森 順子（株式会社ハッピーアロー代表）

地域への誇りと愛情を育む地図づくり 釜薙 陽子（釧路市立湖畔小学校教諭）

司会 谷島久雄（立命館慶祥中学校高等学校講師）・氷見山清子（ESRI ジャパン株式会社）

*本シンポジウムは公益財団法人公文国際奨学財団の「令和3年度国際教育関係団体助成事業助成金」を受けて開催されています。

*申し込み：名前・所属・学年・メールアドレスを seme@environmentalmap.org

*参加の方には開催1週間前にzoomのIDとパスコードをお知らせします。

*コロナの感染状況によっては内容変更または中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。

*詳しくは環境地図教育研究会のホームページを御覧ください。 <http://www.environmentalmap.org/>